

Optics & Photonics Japan 2006

国際シンポジウム

最近の東アジア経済成長の報道に接しますと、新しい時代の胎動を感じます。実際、'05年のGDP統計は[1]、日本、中国、香港、台湾、韓国の合計が8兆ドルを超え、これに、ASEAN諸国を加えると、ほぼ9兆ドルとなり、EUの13兆ドル、米国の12兆ドルに次ぎ世界第三位です。15年前のバブル当時は、あたかも日本のみで第三の極をなすかに見えましたが、この世界第三の経済圏は、実は、東アジア域内の経済交流が急速に拡大した結果であり、むしろ、東アジア経済圏として生まれつつあると認識できます。そして、私達の光産業についても、'05年の国内生産額が8兆円であり、ここ5年の年成長率の平均が6.5%に達し、東アジア経済の牽引に起因する[2]と分析されています。

この大潮流の中にあって、OPJ'06としても、アジア近隣諸国で基礎から応用まで光技術の第一線でご活躍の先生方をお招きし、活発な討論を通じて“光のシナジー”を求めべき時期到来と考えました。この国際シンポジウムが、今後、例えば、ASOP (Asian Society of Optics & Photonics)と呼ばれるような、アジアの新しい光の科学技術フォーラムとしてスタートし、新しいイノベーションのきっかけを生み、協調と競争の活気溢れる交流の場として成長することを願います。

[1] 世界銀行統計

[2] 「光産業動向調査」光産業技術振興協会編

会場 学術総合センター（一橋記念講堂）〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2

参加登録 OPJ2006への参加登録が必要です。下記ホームページからお申し込みください。

日時 2006年11月8日(水) 15:50~18:00（英語、通訳なし）

座長 志村 努（東京大学）

プログラム

- 15:50-16:00 “Opening Remarks; Optics & Photonics Innovation in Asia”
Kimio Tatsuno (OPJ2006 Organizing Chair / MEXT / Hitachi Ltd.)
- 16:00-16:30 “Femtosecond Laser Spectroscopy and Applications”
Qihuang Gong (Peking Univ., China)
- 16:30-17:00 “Medical Diagnosis using Optical Coherence Tomography”
C. C. Yang (National Taiwan University, Taiwan)
- 17:00-17:30 “Vertical cavity surface emitting lasers with photonic crystal structure”
Yong Hee Lee (KAIST, Korea / IEEE Distinguished Lecturer)
- 17:30-18:00 “WDM-PON technology for fiber-to-the-home”
Byoung Yoon Kim (KAIST, Korea / IEEE Fellow, ICO Vice-president)

OPJ2006ホームページ <http://www.opt-j.com/opj2006/>

連絡先(企画担当) 志村 努（東京大学） shimura@iis.u-tokyo.ac.jp